

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	吉備国際大学
設置者名	学校法人順正学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
社会科学部	経営社会学科	夜・通信	16		54	70	13	
	スポーツ社会学科	夜・通信	16		80	96		
保健医療福祉学部	看護学科	夜・通信	16		120	136		
	理学療法学科	夜・通信	16		58	74		
	作業療法学科	夜・通信	16		73	89		
看護学部	看護学科	夜・通信	16		70	86		
心理学部	心理学科	夜・通信	16		80	96		
アニメーション学部	アニメーション学科	夜・通信	16		96	112		
農学部	地域創成農学科	夜・通信	13		51	64		
	醸造学科	夜・通信	13		37	50		
	海洋水産生物学科	夜・通信	13		58	71		
外国語学部	外国学科	夜・通信	14		76	90		
人間科学部	人間科学科 心理学専攻	夜・通信	16	28	35	79		
	人間科学科 理学療法専攻	夜・通信	16	28	29	73		
	人間科学科 作業療法専攻	夜・通信	16	28	31	75		

(備考)	
※教育課程が学年進行している学科については下記により計上した。	
経営社会学科	: 1年 2025 カリキュラム、2年 2024 カリキュラム、3~4年 2022 カリキュラム
スポーツ社会学科	: 1~4年 2022 カリキュラム
看護学科	: 1~2年 2024 カリキュラム、3~4年 2022 カリキュラム
理学療法学科	: 3~4年 2022 カリキュラム
作業療法学科	: 3~4年 2022 カリキュラム
心理学科	: 3~4年 2022 カリキュラム
アニメーション学科	: 1~2年 2024 カリキュラム、3~4年 2022 カリキュラム
地域創成農学科	: 1~2年 2024 カリキュラム、3年 2023 カリキュラム、4年 2022 カリキュラム
醸造学科	: 4年 2022 カリキュラム
海洋水産生物学科	: 1~3年 2023 カリキュラム
外国学科	: 1~4年 2022 カリキュラム
人間科学科心理学専攻	: 1~2年 2024 カリキュラム
人間科学科理学療法学専攻	: 1~2年 2024 カリキュラム
人間科学科作業療法学専攻	: 1~2年 2024 カリキュラム
※学生募集の停止	
醸造学科	(2023年度より)
心理学科	(2024年度より)
理学療法学科	(2024年度より)
作業療法学科	(2024年度より)

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本学ホームページにて公表 https://kiui.jp/joho/jitsumukeiken/index

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	吉備国際大学
設置者名	学校法人順正学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校法人順正学園のホームページにて公表 https://junsei.ac.jp/edu/outline/disclosure
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	公益財団法人 理事長	令和7年度定時評議 員会（R7.6.13開催） 終結の時から 令和11年度定時評議 員会終結の時まで	コンプライアンス
非常勤	公益財団法人 センター長	令和7年度定時評議 員会（R7.6.13開催） 終結の時から 令和11年度定時評議 員会終結の時まで	産学連携
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	吉備国際大学
設置者名	学校法人順正学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画(シラバス)の作成については、各学科のディプロマポリシー、カリキュラムポリシーにおける当該科目の位置づけを確認した上で、下記の内容を記載するようフォーマットを統一し、全教員に毎年更新して配付する「シラバス作成の手引き」にもとづき入力するよう徹底している。</p> <p>授業開講の前年度の1月に各教員に作成を依頼し、各教員が入力後、学科ごとに第三者チェックを実施し、指摘された内容について修正を行った上で、学生及び一般にWEBで公開している。シラバスの記載内容、作成のスケジュール、公表については、下記のとおり。</p> <p>【記載内容】 授業方法・概要及び授業計画、到達目標、評価方法、自己学修の方法 実務経験のある教員による授業 など</p> <p>【作成のスケジュールと公表】</p> <p>開講の前年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1月初旬～1月末…各科目担当教員がシラバス作成。(WEB入力) ・ 2月…学科ごとに学科長を中心にシラバスの第三者チェックを実施 ・ 3月中旬までに修正・確認 ・ 3月22日頃…学生・一般に公開 (WEB検索システムで公表) <p>開講年度の4月以降…シラバス一覧表 (PDF) を本学ホームページで公表</p>	
授業計画書の公表方法	<p>本学ホームページにて公表</p> <p>https://kiui.jp/joho/jugyoukeikaku/index</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>成績評価については、各科目のシラバスに「評価方法」を必ず記載し、学生に周知している。評価方法としては、筆記試験、レポート、小テスト、授業内の発表等の学修意欲など多面的な方法を用い、各項目の割合を明記し、基準を示している。また令和4年度からは、演習・卒業論文(研究)を対象に、ルーブリック評価を全学的に導入して評価の厳格化を図っている。</p> <p>これらの成績評価をもとに、学則に定める成績評価基準に照らして厳格かつ適正な評価を行い、単位を認定している。さらにこの成績評価の検証を行い、改善のためのPDCAサイクルを確立している。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

本学では、「履修した授業科目の成績評価は、秀(S) (100～90点)・優(A) (89～80点)・良(B) (79～70点)・可(C) (69～60点)・不可(D) (59～0点)の5段階で評価し、60点以上を合格とする。」と学則に定め、また、成績評価厳格化のため、成績評価の客観的な指標としてGPA制度を導入している。(GPAの算出方法は以下のとおり)

【GPAの算出方法】

学年 GPA =
$$\frac{\text{秀ポイント(4)} \times \text{単位数} + \text{優ポイント(3)} \times \text{単位数} + \text{良ポイント(2)} \times \text{単位数} + \text{可ポイント(1)} \times \text{単位数}}{\text{当該年度中に履修登録した科目の総単位数 (不可・放棄を含める)}}$$

累積 GPA =
$$\frac{\text{秀ポイント(4)} \times \text{単位数} + \text{優ポイント(3)} \times \text{単位数} + \text{良ポイント(2)} \times \text{単位数} + \text{可ポイント(1)} \times \text{単位数}}{\text{在籍期間中に履修登録した科目の総単位数 (不可・放棄を含める)}}$$

※小数点以下第3位を四捨五入し小数点2位まで表記。

ただし、他大学等で修得した単位を単位認定している科目は、修得単位からも履修登録単位数からも除く。

本学においては、このGPAの分布状況を学科ごとに把握、分析するとともに、成績不振者に対する学修指導にも活用している。また、学生及び保護者に配付する成績通知書や外部に提出する成績証明書にもGPAを記載し、自身の成績状況の確認や客観的な指標としての成績評価を示している。

客観的な指標の算出方法の公表方法	本学ホームページにて公表 https://kiui.jp/files/uploads/hyouka_gpa.pdf
------------------	---

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業の認定については、学位授与方針(ディプロマポリシー)として、学位を授与するために修得すべき能力を学科ごとに定め、これをもとに、科目ごとに設定された到達目標について評価基準に基づき、厳格な単位認定を行っている。さらに各科目がディプロマポリシーのどの項目に該当するかをカリキュラムマップで示し、科目とディプロマポリシーの関連性を明確にしている。

また、卒業認定の実施にあたっては、科目担当者が評価基準に基づき厳格に行った評価を事務担当部署である教務課において集計し、学科教員及び教務課双方でチェックして作成した卒業判定資料をもとに、学務代議員教授会で審議され、学長が教授会の意見を聴いたのち、適切に卒業認定を行っている。

卒業の認定に関する方針の公表方法	本学ホームページにて公表 https://kiui.jp/joho/gakka_policy/index
------------------	---

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	吉備国際大学
設置者名	学校法人順正学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://junsei.ac.jp/edu/outline/disclosure
収支計算書又は損益計算書	https://junsei.ac.jp/edu/outline/disclosure
財産目録	https://junsei.ac.jp/edu/outline/disclosure
事業報告書	https://junsei.ac.jp/edu/outline/disclosure
監事による監査報告(書)	https://junsei.ac.jp/edu/outline/disclosure

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:令和7年度事業計画 対象年度:令和7年度)
公表方法:本学ホームページにて公表 https://kiui.jp/joho/index
中長期計画(名称:第3期中期目標・中期計画 対象年度:令和5~9年度)
公表方法:本学ホームページにて公表 https://kiui.jp/joho/index

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:本学ホームページにて公表 https://kiui.jp/information/selfcheck/index
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:本学ホームページにて公表 https://kiui.jp/outline/evaluation/index
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 社会科学部、保健医療福祉学部、看護学部、心理学部、アニメーション学部、農学部、外国語学部、人間科学部
教育研究上の目的（公表方法：本学ホームページ https://kiui.jp/joho/ 及び学生便覧で公表）
（概要）本学学則第 1 条に「本学は、教育基本法及び学校教育法の本旨にのっとり、国際化社会に向けて学部・学科の学術研究領域に関する理論および社会の問題を研究教授し、応用能力をもつ人格を陶冶することを目的とする。」と定め、学部・学科毎に専門性に沿った教育研究を展開している。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：本学ホームページにて公表 https://kiui.jp/joho/gakka_policy/index ）
（概要）卒業の認定については、学位授与方針（ディプロマポリシー）を定め、これをもとに、科目ごとに設定された到達目標について評価基準に基づき、厳格な単位認定を行っている。ディプロマポリシーは、「自ら学ぶ力」として、①知識・技能、②情報の活用、③主体的な学びと論理的な思考、「生きぬく力」として④コミュニケーション・表現力、⑤グローバルな視野と地域貢献活動、⑥課題解決力、「可能性を信じる力」として、⑦自己効力感、⑧学科で特に育成する力の 8 つに分類し、学位を授与するために修得すべき能力について学科ごとに方針を定め、科目ごとにディプロマポリシーのどの項目に該当する科目であるかをカリキュラムマップで示している。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学ホームページにて公表 https://kiui.jp/joho/gakka_policy/index ）
（概要）ディプロマポリシーの達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するのかをカリキュラムポリシーとして定めている。本学では、学科ごとに「教育内容」・「教育方法」・「学修成果の評価法」の 3 項目について具体的に示し、特色ある専門分野の人材育成に取り組んでいる。カリキュラムポリシーを含む 3 つのポリシーについては、本学ホームページに公表するとともに入学時に配付する学生便覧に掲載し、履修指導等の際に学生に周知している。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学ホームページにて公表 https://kiui.jp/joho/gakka_policy/index ）
（概要）本学の各学科のディプロマポリシー、カリキュラムポリシーに基づく教育内容等を踏まえ、「求める人材像」・「入学者選抜の基本方針」の 2 項目に分け、どのように入学者を受け入れるか、またその選抜方法等について、基本的な方針をアドミッションポリシーとして定めている。 アドミッションポリシーは、本学ホームページに公表するとともに学生募集要項等にも公開し、受験生に周知している。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：本学ホームページにて公表 https://kiui.jp/joho/

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
社会科学部	—	10人	4人	5人	0人	0人	19人
看護学部	—	6人	4人	8人	0人	0人	18人
農学部		11人	0人	3人	2人	0人	16人
外国語学部		7人	2人	4人	0人	0人	13人
アニメーション学部		4人	3人	1人	1人	0人	9人
人間科学部		12人	8人	4人	0人	0人	24人
保健福祉研究所		0人	0人	0人	0人	0人	0人
通信教育部心理学部		0人	0人	0人	0人	0人	0人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		人					人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：本学ホームページの教員紹介ページから、リサーチマップ 個人ページへリンクさせている。 https://kiui.jp/joho/index					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
社会科学部	180人	104人	57.8%	724人	473人	65.3%	2人	4人
保健医療福祉 学部	—人	—人	—%	300人	142人	47.3%	10人	5人
看護学部	60人	30人	50%	120人	54人	45%	人	人
心理学部	—人	—人	—%	80人	70人	87.5%	人	人
農学部	90人	80人	88.9%	364人	264人	72.5%	2人	0人
外国語学部	50人	23人	46%	200人	131人	65.5%	人	人
アニメーション 学部	40人	24人	60%	160人	125人	78.1%	人	人
人間科学部	120人	105人	87.5%	240人	175人	72.9%	人	人
通信教育部心理 学部	—人	—人	—%	—人	2人	—%	人	人
合計	540人	366人	67.8%	2,188人	1,434人	65.5%	14人	9人

(備考)
 2024年4月より人間科学部は開設
 2024年4月より保健医療福祉学部は看護学部に変更
 2024年4月より心理学部は募集停止
 2021年4月より通信教育部は募集停止

b. 卒業生数・修了者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業生数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
社会科学部	122人 (100%)	6人 (4.9%)	97人 (79.5%)	19人 (15.6%)
アニメーション文化学部	24人 (100%)	2人 (8.3%)	14人 (58.3%)	8人 (33.3%)
心理学部	23人 (100%)	5人 (21.7%)	16人 (69.6%)	2人 (8.7%)
農学部	42人 (100%)	0人 (0%)	40人 (95.2%)	2人 (4.8%)
外国語学部	41人 (100%)	0人 (0%)	40人 (97.6%)	1人 (2.4%)
保健医療福祉学部	64人 (100%)	0人 (0%)	61人 (95.3%)	3人 (4.7%)
合計	316人 (100%)	13人 (4.1%)	268人 (84.8%)	35人 (11.1%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名					
	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
社会科学部	134人 (100%)	93人 (69.4%)	9人 (6.7%)	29人 (21.6%)	3人 (2.2%)
保健医療福祉学部	56人 (100%)	50人 (89.3%)	1人 (1.8%)	5人 (8.9%)	0人 (0.0%)
心理学部	34人 (100%)	18人 (52.9%)	2人 (5.9%)	14人 (41.2%)	0人 (0.0%)
農学部	47人 (100%)	38人 (80.9%)	1人 (2.1%)	8人 (17.0%)	0人 (0.0%)
外国語学部	41人 (100%)	36人 (87.8%)	2人 (4.9%)	3人 (7.3%)	0人 (0.0%)
アニメーション学部	32人 (100%)	17人 (53.1%)	6人 (18.8%)	8人 (25.0%)	1人 (3.1%)
合計	344人 (100%)	252人 (73.3%)	21人 (6.1%)	67人 (19.5%)	4人 (1.2%)
<p>(備考)</p> <p>社会科学部より外国語学部へ1名転学部。保健医療福祉学部より、社会科学部へ3名転部。心理学部よりアニメーション学部へ1名転学部。心理学部より外国語学部へ1名転学部。いずれも転部先の入学者数に増やして計上している。</p> <p>なお、社会科学部のその他3名、および、アニメーション学部のその他1名については学年が進行せずに転学部した者のため、留年には該当しないため、その他に計上。</p>					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要) 本学では、各授業科目の授業方法および内容、授業計画については、下記の内容等を記載した統一したフォーマットでシラバスを作成している。各学科のディプロマポリシー、カリキュラムポリシーにおける当該科目の位置づけを確認した上で、全教員に毎年更新して配付する「シラバス作成の手引き」にもとづき入力するよう徹底している。</p> <p>授業開講の前年度の1月に各教員に作成を依頼し、各教員が入力後、学科ごとに第三者チェックを実施し、指摘された内容について修正を行った上で、学生及び一般にWEBで公開している。</p> <p>【記載内容】授業方法・概要及び授業計画、到達目標、評価方法、自己学修の方法 実務経験のある教員による授業 など</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要) 成績評価については、各科目のシラバスに「評価方法」を必ず記載し、学生に周知している。評価方法としては、筆記試験、レポート、小テスト、授業内の発表等の学習意欲など多面的な方法を用い、各項目の割合を明記し、基準を示している。これらの成績評価をもとに、学則に定める成績評価基準に照らして厳格かつ適正な評価を行い、単位を認定している。</p> <p>本学では、「履修した授業科目の成績評価は、秀 (S) (100~90点) ・優 (A) (89~80点) ・良 (B) (79~70点) ・可 (C) (69~60点) ・不可 (D) (59~0点) の5段階で評価し、60点以上を合格とする。」と学則に定め、さらに、成績評価厳格化のため、成績評価の客観的な指標としてGPA制度を導入し、GPAの分布状況を学科ごとに把握、分析するとともに、成績不振者に対する学修指導等にも活用している。</p> <p>また、卒業の認定については、学位授与方針 (ディプロマポリシー) を定め、これをもとに、</p>

科目ごとに設定された到達目標について評価基準に基づき、厳格な単位認定を行っている。卒業認定の実施にあたっては、科目担当者が評価基準に基づき厳格に行った評価を事務担当部署である教務課において集計し、学科教員及び教務課双方でチェックして作成した卒業判定資料をもとに、学務代議員教授会で審議され、学長が教授会の意見を聴いたのち、適切に卒業認定を行っている。

学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
社会科学部	経営社会学科	124 単位	有・無	49 単位
	スポーツ社会学科	124 単位	有・無	49 単位
保健医療福祉 学部	看護学科	127 単位	有・無	49 単位
	理学療法学科	127 単位	有・無	49 単位
	作業療法学科	127 単位	有・無	49 単位
看護学部	看護学科	127 単位	有・無	49 単位
心理学部	心理学科	124 単位	有・無	49 単位
農学部	地域創成農学科	124 単位	有・無	49 単位
	醸造学科	124 単位	有・無	49 単位
	海洋水産生物学科	124 単位	有・無	49 単位
外国語学部	外国学科	124 単位	有・無	49 単位
アニメーション 学部	アニメーション学科	124 単位	有・無	49 単位
人間科学部	人間科学科 心理学専攻	124 単位	有・無	49 単位
人間科学部	人間科学科 理学療法専攻	131 単位	有・無	49 単位
人間科学部	人間科学科 作業療法専攻	131 単位	有・無	49 単位
G P Aの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://kiui.jp/joho/index>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

【2023年度以前の入学生】

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
社会科学部	経営社会学科	700,000円	300,000円	330,000円	施設整備費
	スポーツ社会学科	760,000円	300,000円	350,000円	施設整備費
保健医療福祉学部	看護学科	1,146,000円	300,000円	350,000円	施設整備費
	理学療法学科	1,146,000円	300,000円	350,000円	施設整備費
	作業療法学科	1,146,000円	300,000円	350,000円	施設整備費
心理学部	心理学科	803,000円	300,000円	350,000円	施設整備費
農学部	地域創成農学科 (2022年度まで)	1,030,000円	300,000円	350,000円	施設整備費
	地域創成農学科 (2023年度から)	800,000円	300,000円	350,000円	施設整備費
	醸造学科	1,030,000円	300,000円	350,000円	施設整備費
	海洋水産生物学科	800,000円	300,000円	330,000円	施設整備費
外国語学部	外国学科	700,000円	300,000円	330,000円	施設整備費
アニメーション学部	アニメーション学科	700,000円	300,000円	330,000円	施設整備費

【2024年度以降の入学生】

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
社会科学部	経営社会学科	700,000円	300,000円	330,000円	施設整備費
	スポーツ社会学科	760,000円	300,000円	350,000円	施設整備費
看護学部	看護学科	1,000,000円	300,000円	350,000円	施設整備費
農学部	地域創成農学科	800,000円	300,000円	350,000円	施設整備費
	海洋水産生物学科	800,000円	300,000円	350,000円	施設整備費
外国語学部	外国学科	700,000円	300,000円	330,000円	施設整備費
アニメーション学部	アニメーション学科	700,000円	300,000円	330,000円	施設整備費
人間科学部	人間科学科 (心理学専攻) (理学療法専攻) (作業療法専攻)	803,000円	300,000円	350,000円	施設整備費

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<p>a. 学生の修学に係る支援に関する取組</p> <p>(概要) 本学では、スチューデントサポートセンターに学生部と教務部を置き、学生生活と学修の両面から修学支援を行っている。学生部では、奨学金や学生生活全般の支援を行うとともに、留学の支援なども行っている。教務部では成績や履修に関する相談・指導、教職や学外実習などの支援も合わせて行っている。また、ラーニングサポートセンターを組織し、補習授業や語学等の無料講座の開講などの学修支援を行っている。</p> <p>そのほか、2回連続授業欠席した学生のデータを学科教員に提供し、学修を継続していけるよう早期に指導するなど、退学者対策にも力を注いでいる。</p> <p>また、日本学生支援機構給付型奨学金の採用候補者である入学者に対しては、専願入試合格者で給付奨学金採用候補者決定通知の写しを提出できることを条件として、入学金及び前期分授業料等の徴収を入学後の5月27日まで猶予する取組を実施している。</p>
<p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要) 就職、進学相談に学生一人ひとり個別対面及びWEBでの面談を実施。学生にとって良い進路決定ができるよう面談を行い、教職員が支援している。また、EC・履歴書添削、GD、集団面接、個人面接など試験対策を個別に行い、また、TEAMS/ZOOMなど採用試験の内容に応じた対応を行い、就職実践向上を図っている。</p>
<p>c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p> <p>(概要) 本学は、学生の心身の健康維持・向上を目的とした健康管理センターを設置しており、医師及び公認心理士の資格を持つ本学専任教員と非常勤スタッフを配置している。3キャンパスのスタッフで定期的に情報共有を行い連携しながら学生支援に取り組んでいる。</p> <p>また、高梁キャンパスでは居場所を求める学生を支援対象とした「ほっとルーム」を保健室に併設し、利用学生対し健康管理センターの学生相談（予約制）を勧めるなどキャンパス内で孤立、疎外感を持たずに過ごせる環境を提供している。</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：本学ホームページにて公表 <http://kiui.jp/pc/joho/>

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	F133310109536
学校名 (〇〇大学 等)	吉備国際大学
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人順正学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等 (内数) ※家計急変による者を除く。		177人 () 人	166人 () 人	177人 () 人
内訳	第Ⅰ区分	92人	86人	
	(うち多子世帯)	() 人	() 人	
	第Ⅱ区分	47人	43人	
	(うち多子世帯)	() 人	() 人	
	第Ⅲ区分	23人	22人	
	(うち多子世帯)	() 人	() 人	
	第Ⅳ区分 (理工農)	-	-	
	第Ⅳ区分 (多子世帯)	-	-	
区分外 (多子世帯)	人	人		
家計急変による 支援対象者 (年間)				0人 () 人
合計 (年間)				178人 () 人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単 位時間数が廃止の基準に該当)	-	人	人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意 欲が著しく低い状況	-	人	人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	-	人	人
計	-	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2 年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	-	人	人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が警告の基準に該当)	-	人	人
GPA等が下位4分の1	-	人	人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	-	人	人
計	12人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。